

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 6年 5月30日

学) 明照学園 明照幼稚園

1. 本園の教育目標

◎器用に暮らせる子ども ◎気持ち良く暮らせる子ども ◎安全に暮らせる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領をふまえ、1人ひとりの幼児を大切にされた保育を行い、その姿を保護者と共有する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育の質の向上のために、園内研修を充実させる	B	各期ごとにテーマを決め、写真やエピソードを元に幼児の成長を可視化し経験を交流する研修会を、また1学期にはチームビルディングの研修を行った。
2	子どもの育ちの姿を保護者と共有し、理解を得ることで子どもの様々な可能性を知らせる	A	学年だよりの写真掲載やホームページ、動画などで子ども達の姿を知らせ理解を図った。
3	預かり保育を充実させ、子どもの居場所と活動量を確保する。	A	預かり保育の時間や期間を増やし、コロナ禍後の子ども達にとっての遊ぶ「時間・空間・仲間」機会を豊かにして、多くの参加があった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	① その回ごとにテーマが揃っていたので、他学年の担当者からも事例の紹介や質問などが活発に行われ、行ってきた保育を見直す機会が増えた。また、チームビルディングでは日常の担当から離れて一人一人が園全体を考えたり共にあそびを作り出す活動に参加して距離を縮めた。 ② については保護者からも好評で、日常の姿の写真も増えたが、保育の狙い・願いに関連付けた記述の必要性が指摘された。 ③ 時間的枠組みを広げることで保護者の期待に応えられた部分もあるが、今後更に時間が延びることについて、雰囲気や内容の検討が必要と考えられる。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	研修の取組み	毎回1つのテーマを定め、4~5人のグループでそれぞれの事例や経験からディスカッションを行い、それぞれの子ども理解や保育観を深めることを目指す
2	主体性を捉える	行事に限らず日常の姿の動画を作成しつつ、引き続き学年だよりに等で子どもの育ちの姿を保護者と共有していく。
3	内容の改善	特に長時間過ごす子について、どのような環境や内容を設定することが望ましいか、開催しながら検討していく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

◎子どもの気持ちに寄り添った保育を沢山の事例と共に、ベテランの先生と若手の先生でのやり取りがより活発になるといいなと感じました。教育の質の維持にもつながると思います。

◎お手紙での先生と保護者の情報共有は以前よりお手紙の写真などから分かりやすくなりました。

◎まだまだ幼い子ども達なので、長時間幼稚園でよりよい環境を作って頂けるのはありがたいです。